

平成31年度 会津児童園事業計画

1 運営管理

①新人保育士等育成及びプリセプターの養成（2年目）

②職員の意識向上

各種研修会への派遣、研修助成制度活用による自己啓発研修の促進、芸術鑑賞助成制度の活用促進

③地域との連携

- ・小学校、中学校、施設の連携（小・中・園連携会議の活用）
- ・ボランティアの受け入れ
- ・地域行事への参加（花火大会、歳の神、わらべ塾など）

④事務の見直しによる改善合理化

2 養育の質的向上

①手厚い養育が求められる児童の増加への対応

- ・スキルアップのための園内研修、外部研修の充実
- ・県内施設職員研究会での事例研究や、専門家（医療機関、大学等）との連携
- ・被虐待児の幼児期の養育環境を深く考慮し、職員との愛着関係を構築する中で、コミュニケーション能力の確保や、自己肯定感の育成など「子供の育ち直し」を支援する。
- ・そのための重点方針である「子どもの声を聴く活動」の継続発展
ア 毎月行っている、小学生以上の児童への個別面談を継続する。
イ 子どものつぶやきを丁寧に拾い、その背景や思いを職員同士が共有する事業を新たに実施する。
- ・「きらきらディプロジェクト」の充実

②児童の権利を擁護する活動の推進

- ・子供自身が「権利」を理解するための事業の実施
人権擁護委員や苦情解決第三者委員との交流・学習
CAPプログラムや「子どもの権利ノート」の活用
- ・被措置児童への職員による施設内虐待の根絶
会津児童園版「虐待防止対応マニュアル」や全国児童養護施設協議会（全養協）の「チェックリスト」の活用で職員の意識改革を図る。

③子どもの感性を豊かにする体験活動や、生活感覚を身につけ、社会生活にお

けるマナーを習得する活動に引き続き取り組む。

- ・グループ活動での外出（買い物、映画、遊園地、食事会など）や季節ごとの伝統行事や行事食の提供
- ・「ちゃぶ台プロジェクト」の継続で家庭的な雰囲気です卓を囲む経験や、調理の段取りを学ぶ。

3 養育環境の改善

- ・広場の整備と遊具の設置を活かした遊びの充実
- ・児童居室の計画的置替え
- ・男子棟、女子棟の分離
- ・中高生の個室化
- ・本園の計画的な修繕で施設機能の維持を図る。
- ・本園の改築に向け、基本設計の策定に取り組む。

4 法人体制の強化

社会福祉法の改正を受け、社会福祉法人のガバナンスの強化が求められており、法改正や行政からの指導に迅速適正に対応する必要性が高まっている。それにふさわしい体制づくりを進める。